

問

この先ご自身の進退の決意を伺いたい

町長

4期16年をもって勇退を決断

問 町民にやさしいまちづくりを目指して、みんなで創る「訓子府の元氣」7つの約束を公約に菊池町政はスタートした。さまざま施策の中で、今日まで地道に継続されているものを振り返りながらその成果と今後町長として、進退の決意を伺いたい。

答 だった施策は何か。

町長 私は平成19年に町長立起した際「町民の、町民による、町民のための行政を行う」ことを掲げ、これまでに夜間町長室やふるさと懇談会、まちづくり懇談会、車座トークなど直接町民の皆さんと対面しながら、多くの意見や提言、要望を頂いてきた。また「訓子府町まちづくり町民参加条

例」や「訓子府町まちづくり推進会議条例」を制定し制度を条例化できた。

問 職員の町民に対する意識改革につながった施策は何か。

町長 職員としていかに町民との信頼関係を築いていくかは永遠の課題で、町民の方に対する職員の意識の変革や職員を知ってもらうことを目的とした地域担当職員制度を導入した。こうした取り組みのもと、町民の理解や意見の重要性を職員が認識してきており接し方や丁寧な説明を心がけるなど、職員の町民に対する意識が変化している。

問 姉妹まち交流事業の成果と今後に期待することは。

町長 平成13年「姉妹まち」締結調印から21年間の交流でさまざまな事業を進め延べ千人を超える町民がお互いの町を訪問している。これからもさらに交流の輪を広げ、お互いにより多くの交流事業を実施し、さらなる発展を期待している。

問 ハード事業による将来的な財政面の見通しは。

町長 平成20年度からスタートした財政健全化戦略プランの着実な実行により、平成26年度には財政状況の改善が図られ、その精神を引き継いできた。

将来的な財政面の見通しでは令和4年度末の一般会計地方債残高見込みは51億8千748万円となり令和7年

度に償還のピークを迎え、6億円を超える額になる。

今後持続可能な財政運営を目指し行政改革の推進に当たっていただく必要がある。

問 この先、ご自身の進退の決意を伺いたい。

町長 多くの町民の方から継続の声をいただいているが、あまりにも多い課題、新しい時代にふさわしい訓子府

町の発展に向けて、4期16年をもって勇退することを決断した。

住み良いまち

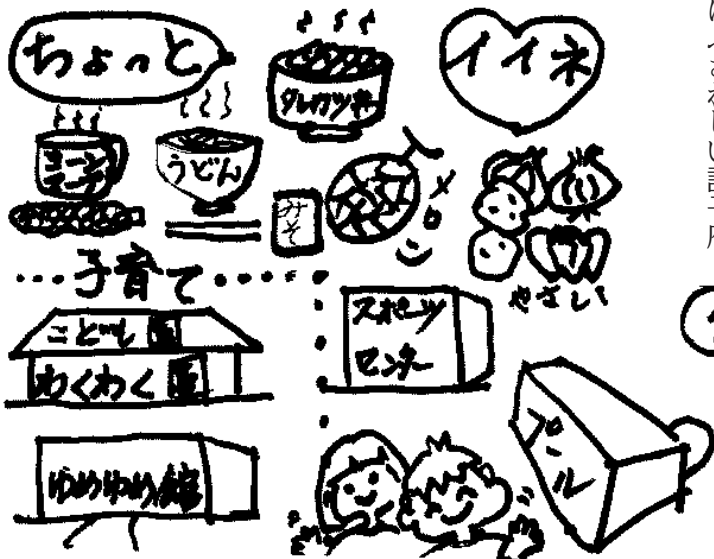


にしやまゆみこ 議員
西山由美子

ちょっといいね
くんねっぷ
みんなが願う
住み良いまち

町長 平成20年度からスタートした財政健全化戦略プランの着実な実行により、平成26年度には財政状況の改善が図られ、その精神を引き継いできた。

将来的な財政面の見通しでは令和4年度末の一般会計地方債残高見込みは51億8千748万円となり令和7年



西山議員の一般質問を視聴できます